

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式										
E1421006		ソルフェージュ (Solfege)																
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員												
選択	1	3	教育学部			氏名 清水 慶彦 E-mail shimizu-y@oita-u.ac.jp 内線												
授業の概要	「ソルフェージュ」の内容をふまえ、いわゆる「聴音」ならびに「視唱」の訓練をおこなう。																	
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 楽譜の基礎など、音楽科教員として必要な素養を身につけ実践できる。																		
目標2 旋律聴音ならびに和声聴音を実践し、正しく楽譜として記述できる。																		
目標3																		
目標4																		
目標5																		
目標6																		
目標7																		
目標8																		
目標9																		
目標10																		
授業の内容																		
1 ソルフェージュとはなにか																		
2 楽譜の書き方																		
3 旋律聴音の実践(1) 平易な旋律																		
4 旋律視唱の実施(1) 平易な旋律																		
5 旋律聴音の実践(2) 実作品の旋律をもちいて																		
6 旋律視唱の実施(2) 実作品の旋律をもちいて																		
7 和声聴音の実施(1) 平易な和声進行																		
8 平易な実作品をもちいた聴音の実施																		
9 平易な実作品をもちいた視唱の実施																		
10 ここまでのまとめと小テスト																		
11 大譜表、スコア譜など、さまざまな楽譜の読み方																		
12 実作品をもちいた聴音の実施(1) 借用・転調を含まない																		
13 実作品をもちいた聴音の実施(2) 借用・転調を含む																		
14 実作品をもちいた聴音の実施(3) さまざまな楽器による課題																		
15 実作品をもちいた聴音の実施(4) 応用的な課題																		
ラーニング	A:知識の定着・確認	実技・実演をとまなう能動的修学。					工夫	その他の										
	B:意見の表現・交換																	
	C:応用志向																	
	D:知識の活用・創造																	
時間外学習の内容と時間の目安	準備学修	音楽的能力の維持・発展のための日常的な練習(30h)																
	事後学修	視奏・視唱・聴音などの技術的問題の解決のための練習(15h)																
教科書	授業中に資料を配布する。ただし、各自で五線紙を用意すること。																	
参考書	『中学校の音楽』(1、2・3上下巻 教育芸術社)																	
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10						
	授業中の課題	50%																
	授業中の小試験、試験等	50%																
	授業中の課題、小試験、試験等により総合的に評価。																	
注意事項																		
備考																		
リンク																		
	URL																	